平成30年度第1回八王子市多文化共生推進評議会議事要点録

【日時】

平成30年7月6日（木）午後6時30分から午後8時30分まで

【場所】

学園都市センター11階 学生交流室・国際交流室

【出席者】

◎評議員

評議員森茂座長、遠藤評議員、岡林評議員、河西評議員、館山評議員

谷川評議員、ドミー評議員、花輪評議員

◎事務局

小浦部長、新井課長、櫻井課長補佐、波多野主任、阿部田主事

【欠席者】

シュレスタ評議員、マダワラ評議員

【公開・非公開の別】

公開

【傍聴人】

1名

【配付資料】

評議会次第

資料1 八王子市多文化共生推進評議会評議員名簿

資料2 八王子市多文化共生推進プラン（改定版）概要版

資料3 八王子市多文化共生推進プランに基づく取組み状況（平成25～29年度）

資料4 平成30年度ドイツ・ヴリーツェン市学生交流事業について

【参考資料】

八王子市多文化共生推進プランで掲げた数値目標に対する現状

1 開会

《資料確認》

《小浦部長挨拶》

2 八王子市多文化共生推進評議会評議員の変更について

評議員森茂

- ・それでは、次第2について事務局より説明をお願いする。

事務局櫻井

- ・資料1を用いて説明

《花輪評議員紹介、挨拶》

3 意見交換

ひょうぎいん
評議員

- それでは、次第3の意見交換にあたり、資料2について事務局より説明をお願いします。

じむきょく
事務局

- 資料2を用いて説明。

ひょうぎいん
評議員

- ただいまの事務局の説明に対して、意見はあるか。無いようなので、続いて参考資料及び資料3について事務局より説明をお願いします。

じむきょく
事務局

- 参考資料、資料3を用いて説明。

ひょうぎいん
評議員

- 事務局からの説明も踏まえ、これから具体的にどんな事業を展開していったら良いのか、特にプランの重点施策に設定されているところを中心に、皆様から積極的にご意見をいただきたい。

ひょうぎいん
評議員

- 資料が、更新の具合など、とてもわかりやすい。所管がわかるようにしてもらえればもっと見やすくなると思った。
- 内容が同じ施策が、異なる事業番号で複数回出てくるのはなぜか。

じむきょく
事務局

- 例えば、ある事業を行うと、施策No.1だけでなく、No.3にも関わるし、No.5にも影響がある。一つの事業がいろんなことに波及していく。

ひょうぎいん
評議員

- 一つの事業が色々な施策に関係しているので、敢えて重ねて出しているということでしょうか。

じむきょく
事務局

- そうだ。

ひょうぎいん
評議員

- ・新規事業として多文化共生推進月間というものがあるが、八王子市独自の話なのか。

じむきょく
事務局

- ・そうだ。

ひょうぎいん
評議員

- ・東京都とか、もっと大きい範囲で実施すれば、マスコミが飛びつくのではないだろうか。その方が、効果が出ると思う。都に投げかけてみてはどうか。

じむきょく
事務局

- ・多文化共生推進月間は他の自治体でも設定している。それを調べると、時期がバラバラである。例えば、名古屋市は8月だが、愛知県は11月、長野県は7月、北九州市は10月で、全国的に決まっているわけではない。
- ・東京都との連携することでより効果的になるかもしれないが、今のところ東京都が実施する話は聞いていない。東京都はどちらかというと、「人権週間」にあわせて多文化共生を周知している。今のところ、都に投げかけても見込みは低いのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・東京都の人権週間は11月だ。人権の中で多文化共生を周知している。

ひょうぎいん
評議員

- ・11月にあわせてPRしてみてはどうか。

じむきょく
事務局

- ・10月、11月ごろの設定に向けて内部で話を進めているところだ。都の人権週間もあり丁度良いかもしれないが、まだ決まっていない。

ひょうぎいん
評議員

- ・留学生の就職関係だが、八王子にある国際電子専門学校は受験倍率が高い。就職先の情報も色々を持っていると思うので、一度ヒアリングしてみると良い。

ひょうぎいん
評議員

- ・多文化共生推進月間に関連して、図書館で展示をすることだが、実施は今年からか。

じむきょく
事務局

- ・今年実施する予定だ。

ひょうぎいん
評議員

- ・推進月間の事業に含めないのか。

じむきょく
事務局

- ・推進月間の設定は来年度。推進月間の事業に含めるのは来年度以降。図書館での展示は先行して行う予定。

ひょうぎいん
評議員

- ・どういう種類の本を選ぶのか。

じむきょく
事務局

- ・まだ調整はできていないが、「多文化共生」「国際理解」「異文化理解」といったキーワードを挙げ、それに関係する本を集めることになる。

ひょうぎいん
評議員

- ・たくさん本が出ているが、展示する本のレベルはどのくらいか。児童図書も含むのか。

じむきょく
事務局

- ・原則的には児童図書は置かない予定。どうしても図書がそろわない場合などを除き、基本的には大人向けの事業だ。

ひょうぎいん
評議員

- ・できれば子供たちへの啓発という意味で、児童図書も並べたらいいと思う。

じむきょく
事務局

- ・我々の方からリクエストすることも考える。

ひょうぎいん
評議員

- ・キーワードのなかに「クレオール」が入るといいのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・児童対象であれば、いろいろな国の絵本を並べたらどうか。文章が読めなくても、絵で他国の文化を知ることができるし、子どもの多文化理解につながるのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・世界には文字を持たない民族は少なくない。絵本で視覚的に訴えていくことはいいと思う。

ひょうぎいん
評議員

- ・多言語図書館もあるため、市の図書館に多言語の図書が並ぶことは良いことだと思う。

じむきょく
事務局

- ・このテーマ別展示は、基本的に図書館の蔵書を並べるもので、新たに本を購入するものではないかもしれない。外国の絵本は所蔵しているので、図書館とよく協議をしたい。

ひょうぎいん
評議員

- ・多摩地域の図書館間の協定を使って、他市の図書館から本を集めることも可能ではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・図書館にある蔵書だけでなく、市民が持っている本を並べてもいいのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・図書館に並べられないほど本が集まったら、夢美術館に並べるのもいいのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・展示をするにあたって、どんな本を選ぶ企画は図書館がおこなうのか、多文化共生推進課がやるのか。

じむきょく
事務局

- ・まだ具体的には決まっていない。
- ・いまキーワードを挙げてほしいと言われていて、「多文化共生」「国際理解」「異文化理解」を挙げている。あまり大きな展示スペースがあるわけではないので、年度ごとに多少キーワードを変えていきたい。1回の展示でたくさんキーワードを挙げてしまうと、展示がバラバラになってしまう恐れがある。

ひょうぎいん
評議員

- ・本のことは専門で関わっているので、いくらでも協力できる。

ひょうぎいん
評議員

- ・八王子国際協会では、国際理解教育を行っているので、少しでも情報を提供したい。

まんがけいしき ほん じょうほうていきょう
漫画形式の本などもあるため、情報提供させていただきたい。

じむきょく
事務局

- ・また、情報を教えてほしい。

ひょうぎいん
評議員

- ・施策No.23の防災に関係するが、八王子国際友好クラブで行っている立川防災館での防災体験への参加者がなかなか集まらない。毎年10人程度。立川防災館は様々な訓練、体験ができるとても良い施設なので、ぜひみんなに行ってみてほしい。外国人を集める良いアイデアはないか。

じむきょく
事務局

- ・立川防災館は市でも毎年実施しているが、多い時でも20人弱ほど。JR八王子駅北口からバスを出しているが、参加人数は多くない。
- ・これに限らず、どのイベントに関しても外国人の方を集めるのは苦戦している。

ひょうぎいん
評議員

- ・いまの谷川評議員の話は、市民団体の八王子国際友好クラブで行っている話だが、これと市で行っている立川防災館のイベントを合体すれば、20人以上になる。日本語教室のスケジュールに合わせて、うまく市民団体とくっつけば良いイベントになるのではないか。

ひょうぎいん
評議員

- ・立川防災館の宣伝も足りないと思う。防災館を紹介する動画などを学校等で流すことなどができればいい。

ひょうぎいん
評議員

- ・外国人を市が直接働きかけて集めるのは難しい。
- ・外国人コミュニティを育成していくことが大事だと思うが、施策8の「コミュニティグループの構築」、施策31「外国人キーパーソンの育成」について、現在なにか働きかけはあるのか。いくつかグループは把握しているのか。

じむきょく
事務局

- ・以前のプランでSNSを活用したグループを作るということになっていたが、その後、Facebookを活用して、6個グループが作られた。中国語、韓国・朝鮮語、英語、ベトナム語、スペイン語、フィリピンの6つだ。

ひょうぎいん
評議員

- ・そこに「今度立川防災館に行くイベントがある」というようなことは流しているのか。

じむきょく
事務局

- ・流している。

ひょうぎいん
評議員

- ・そのグループを今後もっと育てていくようなことは考えているのか。

じむきょく
事務局

- ・「コミュニティグループ」「キーパーソン」の関係はなかなか苦戦している。
- ・以前のプランでは「キーパーソンのための研修を開催する」ということで、八王子国際協会と連携して開催していたところだが、開催自体がなかなか難しかった。また、「キーパーソン」というのもハードルが高かったのかもしれない。

ひょうぎいん
評議員

- ・立ち上げ時はグループが順調に増えていったが、キーパーソンの方の事情が変わってしまふ。キーパーソンが帰国したりしてしまうと、コミュニティが上手くいかなくなってしまふ。今また探して一生懸命やろうとしているところだ。

じむきょく
事務局

- ・せっかく6グループ作ったので、うまく活用して、再構築しようとしている。

ひょうぎいん
評議員

- ・Facebookの周知は進んでいる。

ひょうぎいん
評議員

- ・中国の方は人数も多いので、中国だけでいくつもグループができるのではないだろうか。

ひょうぎいん
評議員

- ・中国版Facebookのようなものもあるらしい。Facebookだけでなく、そちらにも情報が広がるよう、我々も知識を広げていきたい。

ひょうぎいん
評議員

- ・そのFacebookの6グループのメンバーの人数はどれくらいか。

事務局

- ・29年度末の数字になるが、中国語は52名、韓国・朝鮮語が19名、スペイン語が47名、フィリピンが21名、英語が39名、ベトナム語が18名。合計196名が参加している。

評議員

- ・積極的なリーダーになるような人がいるといい。八王子国際協会とも協力してぜひ立て直してほしい。

評議員

- ・少数派の民族でもグループはわかる。駅ごとや、サロン、エスニック料理店など、それぞれの集まる居場所でもコミュニティができていないかと個人的には思う。

評議員

- ・皆さんはそれぞれコミュニティには入っているのか。

評議員

- ・入っている。あまり情報は入っていない。

評議員

- ・そのコミュニティで独自の活動を行っているのか。

評議員

- ・助け合いなどはある。派手なことではなく、地味な活動もある。あまり目立ちたくない。友達同士でやっている。

評議員

- ・コミュニティになりうるサロンに関わっているが、そこにずっと居つづける人は少ない。短い人では、数か月でいなくなってしまう。

評議員

- ・Facebookのグループで自分から情報を出すことは問題がある。ベトナム語のページは、登録数は少ないが、見ている人は多いと思う。情報をシェアする人は多いと思うが、そこで交流はあまりできていないと思う。みんな沈黙して、興味があれば参加する。

評議員

- リアルなコミュニティがあり、その中でのコミュニケーション手段の1つとして Facebook があれば、機能するかもしれないが、リアルなコミュニティがないのに、Facebook ページ だけあっても、そこに交流は生まれにくいということだろうか。

評議員

- 学校からのお知らせが、外国人の親が読めないという問題がある。
- 第一小学校では外国人の保護者の会が立ち上がった。学校からのプリント類を英語・中国語 に翻訳し、共有している。
- このやり方がほかの学校に広がれば、自分たちの力で助け合える。

評議員

- 第一小学校では外国をルーツに持つ子どもがとても多く、PTA が機能しなくなった。その ような中で「国際部」が立ち上がった。

評議員

- 就学時支援者に大学生を使うようになっている。子どもと年齢も近くていいと思う。

事務局

- 学校の話は補足する。以前から行っている就学時支援者の派遣などは継続している。就学時支援者の派遣時間は増やしている。
- 昨年度からは、打越中学校で日本語初期集中授業を開始した。連続10日程度、集中的 に日本語を指導する。子どもたちへの支援は整ってきつつある。
- 一方で保護者のフォローは進んでいない。

評議員

- 1校だと八王子市は広域であるため、通うのが大変ではある。

評議員

- 施策No.27 についてだが、TAMA 協会と大学コンソーシアム八王子との話で、企業の ニーズを確認する必要があるとのことだが、商工会議所などへのアンケートを実施する 方向が良いのではないかと。

事務局

- 企業へのアンケートを実施するならば、八王子商工会議所などを通じて実施しないと、理解 を得られない可能性もある。

ひょうぎいん
評議員

- ・TAMA協会は企業数が250くらい。ものづくりが90%、IT関係が8%、2%が運送関係である。商工会議所は企業数が3,000以上あり、商業、建設なども含め、企業数が多いため、どのように実施するかを検討する必要はあるのではないかと。

ひょうぎいん
評議員

- ・サイバーシルクロード八王子などもある。

ひょうぎいん
評議員

- ・来週留学生へのヒアリングを実施することだが、主催はどこか。

じむきょく
事務局

- ・多文化共生推進課の事業として八王子市外国人留学生奨学金の受給者50名が高尾山観光案内ボランティアを実施するが、その事前研修を行う際に、ヒアリングの場を設ける予定。企業支援課、TAMA協会なども参加する予定である。

ひょうぎいん
評議員

- ・(株)サーティーフォーのSpeakという事業があり、企業と留学生をWeb上でマッチングさせる事業を実施している。そのような企業の紹介なども検討してはどうか。

じむきょく
事務局

- ・留学生の話が出たため、参考情報として紹介するが、プランには八王子市域21大学等における外国人留学生の数を3,616人と記載しているが、今年5月1日現在では、4,300人くらい。そのうち、市内に居住している数は、約1,600人から約2,000人に増えている。また、「留学」の在留資格者が市内で一番多くなっている。

ひょうぎいん
評議員

- ・八王子市内の企業に就職したい留学生がどのくらいいるかを把握する必要がある。

じむきょく
事務局

- ・留学生へのヒアリングの際にもその内容は聞こうと思っている。それ以外でも留学生全体へアンケートが取ればと思っているが、まだ調整ができていないため、まずは事前研修に参加する留学生数名にヒアリングを実施する予定である。

ひょうぎいん
評議員

- ・案内表示の多言語化についてだが、西放射線通りに市が設置した Wifi があるが、皆さんは接続したことがあるか。最近、携帯電話をスマートフォンに変えたため、接続を試みたが、つながらなかった。接続方法の記載が書いてあり、そのとおり手順を踏んでいるが、接続できなかった。西放射線通りには3か所ある。接続時に設定画面が表示されるはずだが、表示されなかったため、皆さんも試してほしい。販売店で聞いてみたが、最終的に接続できなかったため、一度接続確認をしたほうが良いと思う。

じむきょく
事務局

- ・英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応しているサービスのため、確認をしてみる。

ひょうぎいん
評議員

- ・Wifiは東南アジアと比べても遅れている。家電量販店の販売員に聞いてみても、テレビで宣伝している有名な会社でさえ、安定はしていないとのこと。Wifiの接続については、市の問題だけではないかもしれない。

ひょうぎいん
評議員

- ・ある携帯会社の店舗近くでは、自動でWifiが接続し、インターネットの利用もできる。市としてもWifiが利用できることを大々的に宣伝するのであれば、実際の接続状況も検討していく必要があるのではないかな。

ひょうぎいん
評議員

- ・海外旅行の際には、ポケットWifiを持っていく人が多いのではないかな。

ひょうぎいん
評議員

- ・日本では公共のWifiが使えないことは広まっており、持ってくる人が多い。
- ・施策No.36もWifi以外の事業についても検討した方が良いのではないかな。

ひょうぎいん
評議員

- ・せっかく市で実施している事業であるため、Wifiについては確認してほしい。
- ・ほかの事業についてはどうか。

ひょうぎいん
評議員

- ・施策No.35についてだが、外国人観光客等への観光案内でQRコードについても検討してほしい。

- ・施策No.5 のやさしい日本語講座の実施場所や回数を増やして、参加者を増やしてほしい。
- ・施策No.21 についてだが、外国人の就職者が増えるとトラブルも増えている可能性がある。トラブルの際、外国人はどこに相談ができるかを示す必要がある。給料の未払いなどもあるため、相談窓口を紹介していくことが望ましい。
- ・留学生の就職支援についてだが、八王子市内企業のニーズを把握できないと進んでいかない。
- ・外国人留学生の能力を活用した地域活性化も具体的な案を出してほしい。どのように考えているのか。

事務局

- ・イメージしているのが、商店街と留学生を結び付け、外国人観光客への対応を強化することなどを考えている。

評議員

- ・外国人留学生がアルバイトするなど考えられる。

事務局

- ・ここでは、アルバイトを想定しているわけではないが、商店街を支援する市の担当部署と留学生を結び付け、たとえば、メニューの開発や多言語化、宗教関連に対する留学生目線のアドバイスなどができればと考えている。

評議員

- ・日本語学校に所属する外国人留学生の支援については、具体的な考えはあるか。

事務局

- ・ここについては、具体的には進んでいないが、まず、日本語学校へのヒアリングを実施し、その後、そこに通っている外国人留学生へアンケート調査の実施を検討している。事業については、その後検討していく予定。

評議員

- ・そのアンケートはとても期待している。

評議員

- ・学生はアルバイトをし、自分の授業料をしっかりと支払うことで精いっぱい。夜間のアルバイトが多いが、勉強時間を圧迫してしまう。勉強が目的ではなく、就労が目的に

なってしまう。

事務局

日本語学校に通っている留学生はおよそ1,000~1,500人いると思われるが、西八王子にある東京国際交流学院は昨年の夏ごろに伺った際には、約1,200人通っている。南町にある東京国際外語学院は定員100人だが、現状は40人。そこは進学コースと介護コースがあり、介護コースは11人程度で残りが進学コース。介護コースは全員ベトナム国籍の方になっている。日吉町にある東和国際学院はヒアリングができていないが、規模はあまり大きくないと聞いている。多くても50名いないぐらいではないか。

評議員

今年10月開校を予定している京王言語学院もある。

事務局

大学に通っている留学生も増えているが、日本語学校に通う留学生も大幅に増えている。

評議員

日本語学校に通う留学生を支援していくことは難しい。学生の目的も勉強なのか、仕事なのか様々。日本では、介護の人材不足もあるが、学校側でも問題を抱えている。

評議員

間もなく時間になる。議論に出ていない内容として、世界的な問題になっている難民問題がある。八王子市に直接関係が無いかもしれないが、難民支援として世界各国が動いている。日本は難民認定がとても厳しく、年間20名程度などで、難民支援に関しては後進国である。着実に日本にも難民の方が多く来ていて、その方々に対する支援は国家的にも課題となっている。市のプランの中には、難民の記載はないが、今後は考えていかなければならないかもしれない。

評議員

八王子国際協会にも難民支援関連の団体の通訳などの依頼もある。

評議員

大学も少し検討していて、これまで外国人枠などを設けていたが、ここで難民枠を設けようとしているところもある。2週間前に名古屋大学に行ったが、生協で難民料理というところでシリア料理を提供し、難民の理解を深める活動をされていた。これから大きな問題に

なってくるため、^{こんご} 今後は^{ぶらん} プランの^{ないよう} 内容などにも^{かか} 関わってくるのではないかと^{いけんこうかん} 意見交換は^{いじょう} 以上とする。

4 ^{ほうこくじこう} 報告事項

- ・ ^{ヴリーツ} ヴリーツ ^{エン} エン市 ^{しがくせいこうりゅうじぎょう} 学生交流事業など ^{こんごじっし} 今後実施される ^{かんれんじぎょう} 関連事業などを ^{せつめい} 説明

5 ^{じむれんらく} 事務連絡

- ・ ^{じかい} 次回開催日程 ^{いせい} 平成30年 ^{ねん} 2月 ^{がつ} 1日 ^{きん} (金) ^{じふん} 18時30分から

6 ^{へいかい} 閉会